

環境経営レポート

2020年度

(実施期間:2020年5月1日~2021年4月30日)

2021年6月23日発行

2021年10月15日改訂



®環境省

エコアクション21
認証番号 0001052

株式会社飯塚鉄工所

1. 環境方針

(株)飯塚鉄工所は以下の環境方針を定めています。

環 境 方 針

基本理念

株式会社飯塚鉄工所は、金属部品加工製造業として自然との調和を意識し、環境問題を認識すると共に、環境経営システムを構築・運用し維持することにより継続的な改善に取り組む。

活動方針

1. 当社は環境関連法規、条例及びその他の規制を遵守し、可能な範囲で環境保全に取り組む。
2. 資源・エネルギーの消費の適正化（二酸化炭素排出量削減）に努める。
 - ・ 電力消費量の削減
 - ・ 化石燃料の削減（灯油、ガソリン）
3. 廃棄物の削減と、資源としての再利用を進める。
 - ・ 一般及び産業廃棄物の分別の徹底
 - ・ リサイクル率の向上
4. 水資源投入量の適正化に努める。
 - ・ 水使用量の削減
5. 環境活動に配慮した生産活動の推進
6. 環境に優しい物品への取替えを進める。（グリーン調達の実施）
この環境方針達成のため、環境教育や必要な訓練により、全従業員に周知徹底を図る。

制定日 2014年5月1日

改訂日 2020年5月1日

株式会社 飯塚鉄工所

代表取締役 飯塚肇

2. 組織(事業所)の概要

① 事業者名及び代表者名

株式会社 飯塚 鉄工 所
代表取締役 飯塚 肇

ホームページ <http://www.e-iizuka.co.jp>

② 所在地

(本社工場) 〒945-0813
新潟県柏崎市半田3丁目15番16号

(安田工場) 〒945-1355
新潟県柏崎市安田3228番地1

(軽井川工場・軽井川第二工場)
〒945-1356
新潟県柏崎市軽井川931番42

(城塚倉庫) 〒945-1343
新潟県柏崎市城塚2丁目2番地

(愛知営業所) 〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅3丁目17-34
ナカモビル3F



③ 認証・登録範囲

その他組織・全活動を対象とする
ただし、2019年度は城塚倉庫、愛知営業所は対象外とし、
2020年度は愛知営業所のみを対象外とし、4年以内に拡大する

④ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 飯塚 肇

E A 2 1 事務局

連絡担当者

総務部 高橋 沙織

TEL 0257-41-5551

FAX 0257-41-5501

⑤ 事業活動(対象範囲)及び活動の内容

流体機器、真空機器、医療機器の金属部品加工製造業

流体機器

：コントロールバルブ組立・部品加工

：ポンプ組立・部品加工

：一般特殊機械の部品加工及び制作

真空機器

：真空バルブ・部品加工

医療機器

⑥ 事業の規模

従業員数

127人 (2021年9月1日現在)

(本社 47人 安田 11人 軽井川 50人 軽井川第二 10人 城塚 7人)

(愛知営業所 2人)

敷地面積

本 社 (延べ 1714㎡)

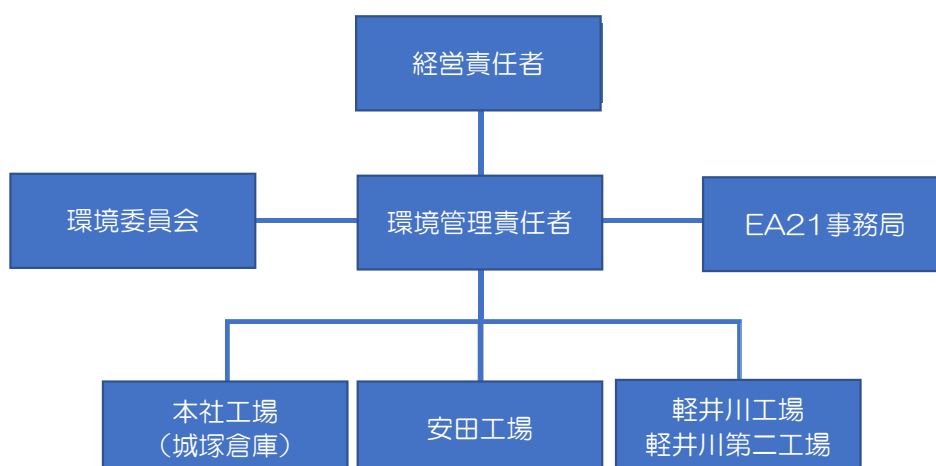
安田工場 (延べ 1586㎡)

軽井川工場 (延べ 1200㎡)

城塚工場 (延べ 1153㎡)

合計 (延べ 5653㎡)

3. 環境組織図



※2020年8月19日に見直した現在の環境組織図です。
環境管理責任者を委員長とした「環境委員会」を設置し活動している。

環境経営における役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表者 (経営責任者)	① 代表者は、代表取締役とする。 ② 代表者は、環境管理責任者を任命する。 ③ 経営における課題とチャンスを確認にする。 ④ 環境への取組を適切に実行する為の資源を用意する。 ⑤ 自ら「環境方針」を定める。 ⑥ 社全体の「環境目標」及び「環境マニュアル」「環境システム組織図」「環境活動レポート」を承認する。 ⑦ 代表者は毎年1回 エコアクション21に基づく環境経営方針、環境経営目標の効果を評価し、効果を評価し、必要に応じて見直しを行う。
環境管理責任者	① 環境管理責任者は、代表者に代わり環境マネジメントシステム全体の構築・運用・維持に責任を持つと共に必要な権限を有する。 ② 代表者に代わって要求事項を満たす環境マネジメントシステムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する。 ③ 社全体の「環境目標」を策定する。 ④ 「環境活動計画」「環境関連法規」「緊急事態対応マニュアル」「教育訓練年間計画」を承認する。 ⑤ 環境委員会の主催。
EA21事務局	環境管理責任者の指示により、下記業務を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「環境マニュアル」の作成及び改訂の作成 ● 社全体の「環境目標」及び「環境活動計画」の作成 ● 環境関連文書及び記録の作成・確認 ● 代表者による全体の取組状況評価及び見直し結果の記録作成 ● 環境活動レポートの作成・取りまとめ
環境委員	① 環境管理システムを運用・管理する ② 「環境方針」の周知徹底 ③ 「環境目標」の達成に向けての活動促進 ④ 実施体制の周知徹底 ⑤ 緊急事態の想定及び訓練実施
従業員	① 「環境方針」を理解し、「環境目標」達成の為、「環境活動計画」を確実に実施する。 ② 自己の業務が環境に及ぼす影響を十分に認識し、環境の維持・改善に努める。

4. 環境経営目標

環境経営目標	目標基準値(2015年度)	2019年度	2020年度
CO ₂ 排出量の削減	976,041 (kg-CO ₂)	前年度の+10%抑制	前年度の+10%抑制
電気使用量の削減	1,555,955 (kWh)	前年度の+10%抑制	前年度の+10%抑制
化石燃料使用量の削減(ガス)	687 (m ³)	前年度の+10%抑制	前年度の+10%抑制
化石燃料使用量の削減(燃料)	17,644 (ℓ)	前年度の+10%抑制	前年度の+10%抑制
一般廃棄物の分別量の削減	数値設定なし	前年度の数値を目標	
リサイクル率の向上	数値設定なし	前年度の数値を目標	
水使用量の削減	1,694m ³	前年度の+10%抑制	前年度の+10%抑制
グリーン調達の実施	数値設定なし	前年度の数値を目標	
納期確保率の向上(本社工場・安田工場)	74.70%	80.00%	95.00%
納期確保率の向上(軽井川工場)	-	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:87%	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:90%
生産性及び品質に関わる能力の向上(軽井川第二工場)	-		年/18件

目標数値設定・・・累計比で2015年度と比較する。

環境経営目標	目標基準値(2020年度)	中期目標		
		2021年度	2022年度	2023年度
対生産電機効率10%向上	79.0(point)(本社工場・安田工場) 242.4(point)(軽井川・第二工場)	対生産電機効率10%向上	対生産電機効率10%向上	対生産電機効率10%向上
		86.9	95.6	105.1
CO ₂ 排出量の削減	1,010,694 (kg-CO ₂)	前年度比の+10%抑制	前年度比の+10%抑制	前年度比の+10%抑制
		909597.6	818637.3	736773.3
電気使用量の削減	1,620,503 (kWh)	前年度比の+10%抑制	前年度比の+10%抑制	前年度比の+10%抑制
		1458452.7	1312606.8	1181345.4
化石燃料使用量の削減(ガス)	527 (m ³)	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標
		527 (m ³)	-	-
化石燃料使用量の削減(燃料)	7,551 (ℓ)	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標
		7,551 (ℓ)	-	-
一般廃棄物の分別量の削減	10,527 (kg)	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標
		10,527 (kg)	-	-
梱包資材のリサイクル率向上	100%	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標
		100%	-	-
水使用量の削減	1,720 (m ³)	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標
		1,720 (m ³)	-	-
グリーン調達の実施	95.5%	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標
		95.5%	95.5%	95.5%
納期確保率の向上(本社工場・安田工場)	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
納期確保率の向上(軽井川工場)	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:100%	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:100%	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:100%	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:100%
生産性及び品質に関わる能力の向上(軽井川第二工場)	18件	年/18件	年/18件	年/18件

※2020年度の結果を踏まえて、2021年度の目標を見直した。

$$\text{対生産電機効率(point)} = (\text{売上(千円)} \div \text{電気使用量(kwh)}) \times \text{売上個数(千個)}$$

5. 2020年度における環境経営目標とその実績（全社）

項目	2019年度	2020年度
CO ₂ 総排出量(kg-CO ₂)	1,041,501	1,010,694

項目	目標	実績	評価	項目	目標	実績	評価
①CO ₂ 排出量の削減(kg-CO ₂)	1,145,651	1,010,694	○	⑦水使用量の削減(m ³)	1,856	1,720	○
②電気使用量の削減(kWh)	1,857,960	1,651,329	○	⑧グリーン調達の実施	90.1%	95.5%	○
③化石燃料使用量の削減(ガス)(m ³)	690	527	○	⑨納期確保率の向上(本社)	95.0%	96.3%	○
④化石燃料使用量の削減(燃料)(ℓ)	12,027	7,551	○	⑩納期確保率の向上(安田・軽井川・軽井川第二)	100.0%	99.15%	×
⑤廃棄物の分別徹底(kg)	12,497	10,527	○	主要医療顧客	90.0%	91.82%	○
⑥リサイクル率の向上(%)	100.0%	100.0%	○	主要ポンプ顧客			
				⑪生産性及び品質に関わる能力の向上(軽井川第二)	18件	14件	×

5- (1) 目標設定値

2020年度は上記表の通り設定した。

5- (2) 各項目換算式。

$$\text{①CO}_2\text{排出量の削減目標値 (kg-CO}_2\text{)} = \text{2020年度累計数値(排出係数 } 0.600\text{kg-CO}_2\text{/kWh)}$$

CO₂排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は平成24年度の東北電力株式会社の実排出係数0.600kg-CO₂/kWhを使用した。

※2020年度実績排出量は三工場に「城塚倉庫、軽井川第二工場」を含む。

$$\text{②電気量削減目標値 (kWh)} = \text{2020年度累計使用量}$$

$$\text{③化石燃料削減(ガス)目標値 (m}^3\text{)} = \text{2020年度累計使用量}$$

$$\text{④化石燃料削減(燃料)目標値 (ℓ)} = \text{2020年度累計使用量}$$

$$\text{⑤廃棄物の分別の徹底 (分別率算出 (%))} = \text{2020年度(産業廃棄物以外)廃棄物累計排出量}$$

※本社工場に城塚倉庫の廃棄物を含む

$$\text{⑥リサイクル率の向上 (リサイクル率算出 (%))} = \text{A} / (\text{廃棄量} + \text{A}) \times 100$$

※梱包資材のリサイクル率、廃棄量を言う 「A=ダンボールストック量+パッキンストック量」

$$\text{⑦水使用量の削減 (m}^3\text{/h)} = \text{2020年度累計使用量}$$

$$\text{⑧グリーン調達の実施 } \text{グリーン調達率 (\%)} = \text{エコマーク商品} / \text{全購入品} \times 100$$

$$\text{⑩納期確保率の向上 (\%)} = \text{2020年度本社納期確保率平均値}$$

主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:90%

$$\text{⑪生産性及び品質に関わる能力を向上させる取組み (件)} : 18\text{件/年}$$

2020年度の結果

今年度も、前年度+10%抑制という目標を達成することが出来ました。

二年連続目標を達成することが出来ましたので、2021年度からは新たな目標を設定し、

さらなる生産性向上の為、従業員一同活動に取り組んでいきます。



6. 環境経営計画の内容

目標項目	内 容	2020年度の実績結果	2021年度の実績内容
①電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 未使用時の積極的な電源OFFに努める。 昼休み時・終業時は必ず行い、機械未稼働時にも必要であれば電源OFF。 パソコン等OA機器も同様。 	徹底している。	継続して行う。 対生産電機効率10%向上を 新規目標として設定した。
	<ul style="list-style-type: none"> 始業前点検・月一回メンテナンス日の設定・実施。 	カレンダー掲示を行い実施した。	
	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の環境当番が確認し、日報に記録する。 	定着している。	
②化石燃料使用量の削減 (ガス)	<ul style="list-style-type: none"> 未使用時の消火の徹底。 	徹底できた。	継続して行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 未使用時・終業時のガス栓閉の徹底。 	徹底できた。	継続して行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 給湯器の無駄な使用を抑えるよう心がける。 	周知徹底を心掛けた。	呼びかけを行い徹底を図る。
③化石燃料使用量の削減 (燃料)	<ul style="list-style-type: none"> 社用車を使用する際には「社用車点検日報」記入し使用状況を確認する。 	使用者は必ず記入し適切に管理した。	社用車追加により使用頻度が増加傾向になると思われるが、なるべく使用頻度を減らすよう努力する。
	<ul style="list-style-type: none"> 本社⇄安田工場を行き来する用件をなるべくまとめて回数削減。 	周知徹底を心掛けた。	
	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ運転等の配慮 	推進できている。	
	<ul style="list-style-type: none"> 部門比較は灯油使用時【冬季のみ】とする。 	冬季の灯油仕様も極力抑えた。	
④一般廃棄物の分別量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 種別ごとにBOXを設置する。 	廃棄物の分別を徹底している。	継続して行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の環境当番が確認し、日報に記録する。 	定着している。	
	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所を確保する。 	確保できている。	
	<ul style="list-style-type: none"> 分別種別表の掲示及び環境管理責任者によるチェック・評価。 	徹底できた。	
⑤リサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 種別ごとにBOXを設置する。 	良い状態を保っている。	継続して行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の環境当番が確認し、日報に記録する。 	定着している。	
	<ul style="list-style-type: none"> ダンボール・パッキン材は再利用不可と判断されたときに廃棄し、それ以外は出荷用としての再利用・製品の下敷など社内間での再利用に努める。 	積極的に再利用に努めた。	
	<ul style="list-style-type: none"> 両面使用済コピー用紙や油が染みて再利用不可の物以外の梱包使用済みの新聞紙・広告を、シュレッダーにかけ、梱包資材として再利用する。 	積極的に再利用に努めた。	
⑥使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 使用量を測定する。 	検針票により確認できている。	継続して行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 節水管理の徹底をする。 	徹底できた。	
	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の環境当番が確認し、日報に記録する。 	徹底できた。	
⑦グリーン調達の実施	<ul style="list-style-type: none"> エコマーク商品の購入時の選定 	購入時、エコマーク商品を選ぶよう周知徹底を心掛けた。	カタログ等表記のあるものを参照に展開していく。
⑧納期確保率の向上 (本社・安田)	<ul style="list-style-type: none"> 段取指示書の作成推進 	推進できている。	継続して行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 新規工具の導入や切削条件の見直し検討会議 	定着している。	
⑨納期確保率の向上 (軽井川・軽井川第二)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の目標未達を受けて改善対策を実行 	未達であるが対策を実行できている。	重要部品について、計画を立て推進。 実績をもとに見直しと生産への反映。
⑩生産性及び品質に関わる能力の向上 (軽井川第二)	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の目標未達を受けて改善対策を実行 	未達であるが対策を実行できている。	実績をもとに見直しと生産への反映。

柏崎市ECO2プロジェクト

2020年度 参加状況

2020年度はコロナの影響により参加できなかった為、

2021年度は積極的に参加したいと思います。



7. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

① 法規制遵守状況の適合性評価・遵守状況

- (1) 騒音規制法・・・指定地域外の為非該当。自主規制値で遵守する。
- (2) 振動規制法・・・指定地域外の為非該当。自主規制値で遵守する。
- (3) 下水道法・・・特定施設対象外であるが、下水道受入基準を遵守する。
- (4) 水質汚濁防止法・・・特定施設非該当。
- (5) 浄化槽法・・・保守点検・清掃（業者委託）
- (6) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律・・・マニフェットを活用。適正処理実施。
- (7) 容器リサイクル法・・・廃棄物の減量・適正処理及び有効活用。
- (8) 家電リサイクル法（廃棄時）・・・適正処理。
- (9) 自動車リサイクル法・・・引取業者への適正な引渡し。
- (10) グリーン購入法・・・環境への負荷の低減に資する製品購入割合促進。
- (11) 消防法・・・灯油について「柏崎市火災予防条例第46条」に基づき届出をした。
- (12) 高圧ガス保安法・・・指定数量以下なので届出不要。但し規制は遵守。
- (13) 環境条例・・・遵守している。
- (14) 労働安全衛生法・・・労働者の安全と健康の確保に努めている。
- (15) フロン排出抑制法・・・業務用冷凍空調機器の適正管理。

② 違反・訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 2020年度の活動に対する代表者による評価・見直しの結果

コロナ化の中で苦しい経営でしたが、国内での内製化を進めました。有価廃棄物は3%アップしていますが、Co2排出量は目標の「前年度の+10%抑制」を達成できました。この結果から、生産する消費電力に対して、生産効率が上がったと言えます。

使用していない切削屑のピットに穴をあけるなど、環境に欠けたものが見受けられたので、今一度環境に配慮する意識をもっていかなければいけないです。

エコアクション組織として若干の脆弱性が見えます。SDG'sや保全の面から、全員参加のエコアクション21を2021年度より始めます。

- | | | |
|------------|--|--|
| ①環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| ②環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| ③実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |